オイル グリス分析報告書

原紙ひな形 案件ごとに必要な欄を記入

試験で確認した事実、当社の技術見解、未確定事項、次の対応を分けて報告します。不要な試験項目は削除し、使用した方法と判定根拠を残してください。

報告書番号　　版　　作成日　　年　　月　　日

項目	内容
ご依頼者・設備	［記入］
試料・調査目的	［記入］
調査モード	□01 簡易診断　□02 詳細分析　□03 専門機関解析
比較・判定の前提	比較試料・管理値・設備メーカー基準・資料番号を記入

総合所見と次の対応

［今回の結論、判断の根拠、優先して行う対応を記入］

測定で確認した事実

［数値、単位、比較対象、観察事項を記入］

考えられる要因と未確定事項

［要因の仮説と、今回の調査では判断できないことを分けて記入］

作成者　　確認者　　承認者

試料情報と測定結果

試料情報	記録内容
識別・採取	［記入］
稼働・使用履歴	［記入］
受入・外観	［記入］
実施先・追跡情報	項目別の実施先・原成績書番号・機器番号・試験日を記入

試験項目と比較結果

項目	方法または条件	単位	未使用	前回	今回
鉄粉濃度	機種・測定条件を記入				
水分	試験方法を記入				
動粘度または ちょう度	対象・温度・方法を記入				
FT-IR など	前処理・比較条件を記入				
追加項目					

単位は使用機器・試験方法に合わせて記入します。未測定、検出限界未満、定量限界未満を区別し、単純に 0 と記入しないでください。

測定条件と判定根拠

［規格・版、前処理、温度、校正、検出・定量限界、不確かさ、繰返し測定など、結果を読み解くために必要な条件を記入］

［設備メーカー基準、未使用比較、継続データ、採用した管理値の出典と適用範囲を記入］

継続測定による傾向管理

採取位置、運転条件、使用時間、補給・交換履歴をそろえて比較します。測定方法や単位が異なる結果は、同じ推移として扱わないでください。

［図表挿入欄］

測定項目ごとに単位を明記し、実測点を表示します。

設備別管理値を示す場合は、出典・承認者・適用条件を併記します。

採取履歴と条件の照合

採取回	使用時間 h	項目 1・単位	項目 2・単位	比較条件の確認
第 1 回				
第 2 回				
第 3 回				

傾向から読み取れること

［前回との差、変化の継続性、条件の違いとその影響を記入］

［傾向管理の限界、比較できない結果、追加で必要な情報を記入］

推奨対応と添付資料

所見と結び付く対応を、担当者・実施期限とともに記入します。追加試験は目的・費用・納期を提示し、ご承諾後に実施します。

優先	推奨する確認・対応	目的	担当・時期
1			
2			
3			

報告の範囲と留意点

［試料の代表性、採取・保管の影響、原因特定の範囲、未実施項目、報告対象外の事項を記入］

添付資料の管理

資料番号	添付資料	発行者・版・備考
A-01	原試験成績書	
A-02	顕微鏡写真・グラフ・比較資料	

確認記録

作成者　　確認者　　承認者

結果説明日　　年　　月　　日　次回確認日　　年　　月　　日